



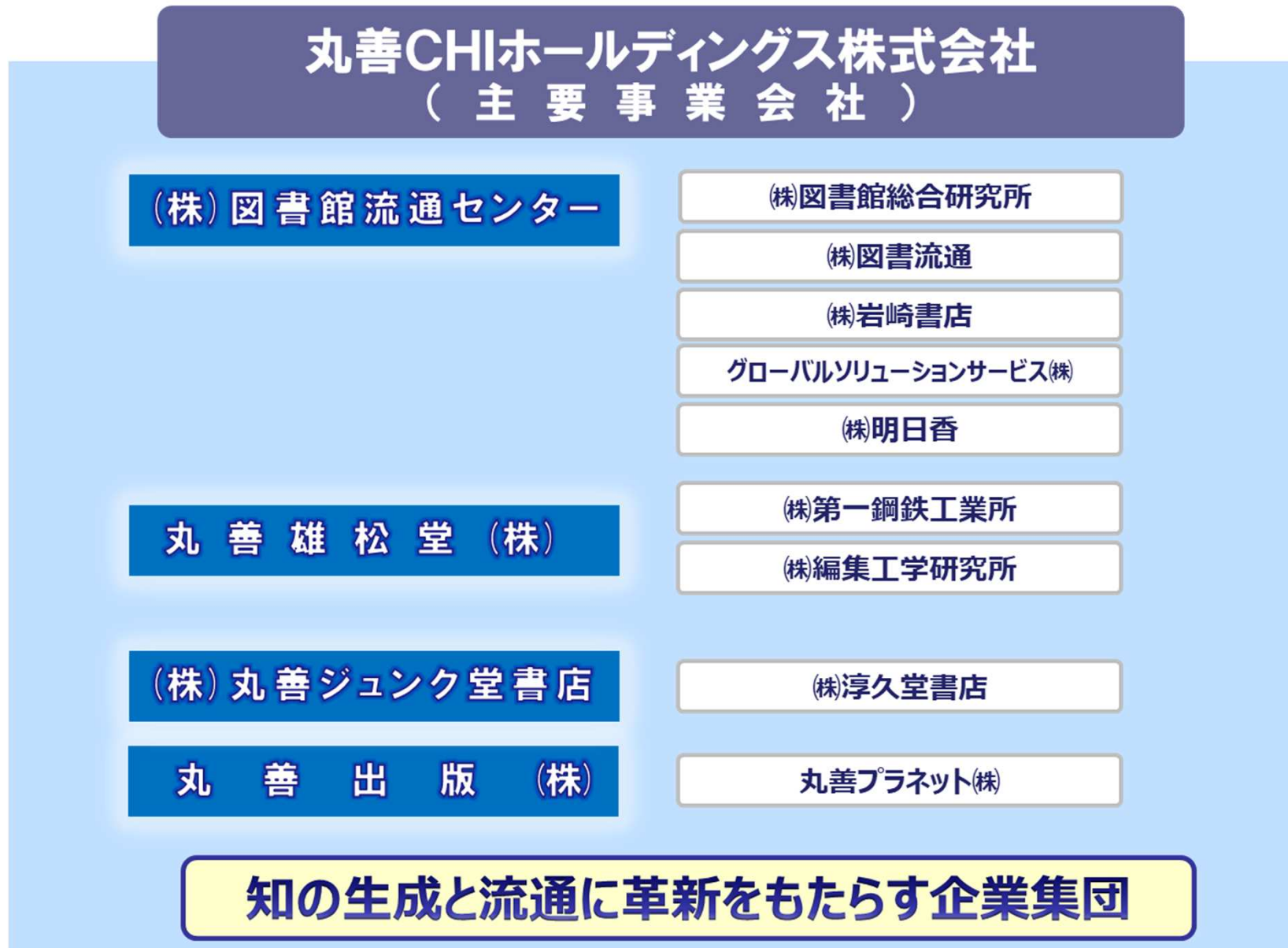
2019年1月期 決算発表ご説明資料

(当社第9期 2018年2月1日～2019年1月31日)

丸善CHIホールディングス株式会社

2019年3月15日

1. 当社の体制図



2. 当期・2019年1月期 業績サマリー・期初予想比

- 当期売上高は、期初予想に対して文教市場販売事業、店舗・ネット販売事業、出版事業において厳しい市場環境や自然災害の影響を受けたものの、公共図書館向けサポート事業や総合保育事業及びパソコンの修理等のその他事業が堅調に推移し、期初予想を1.2%上回った。
- 比較的粗利率の高い商品での売上増や、設備・内装事業関連の粗利率改善が想定以上に進んだことで、営業利益は期初業績予想との比で127.6%となり、経常利益は129.8%となった。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、期初に計画していなかった特別利益の計上もあったことで、24.2億円となり、期初予想から約12.2億円の増となった。

2018年2月1日～2019年1月31日

(単位：百万円)

【2019年1月期】	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
業績予想値 (2018年3月15日発表)	175,000	2,500	2,400	1,200
実績(本日発表)	177,041	3,191	3,116	2,424
対業績予想 増減	2,041	691	716	1,224
対業績予想 比率	101.2%	127.6%	129.8%	202.0%

2. 当期・2019年1月期 業績サマリー・前年比

- 前年との比較で、売上高は、公共図書館向けのサポート事業や、その他セグメントの総合保育事業及びパソコンの修理等の事業が堅調に推移したものの、店舗・ネット販売事業における退店の影響などにより、前年比99.3%となった。（期初に予想した計画との比では101.2%）
- 当期営業利益は、文教市場販売事業、その他事業の店舗内装業において粗利率の改善が進んだこと、図書館サポート事業で業務改善が効果を上げたこと、さらに店舗・ネット販売事業が販管費の削減等で収益改善が進んだことで、前年比138.7%、約8.9億円の増益となった。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期において、店舗・ネット販売事業で資産除去債務の見直しにより減損損失を計上したこと、また今期特別利益の計上があったことから約27億円の大幅な増益となった。

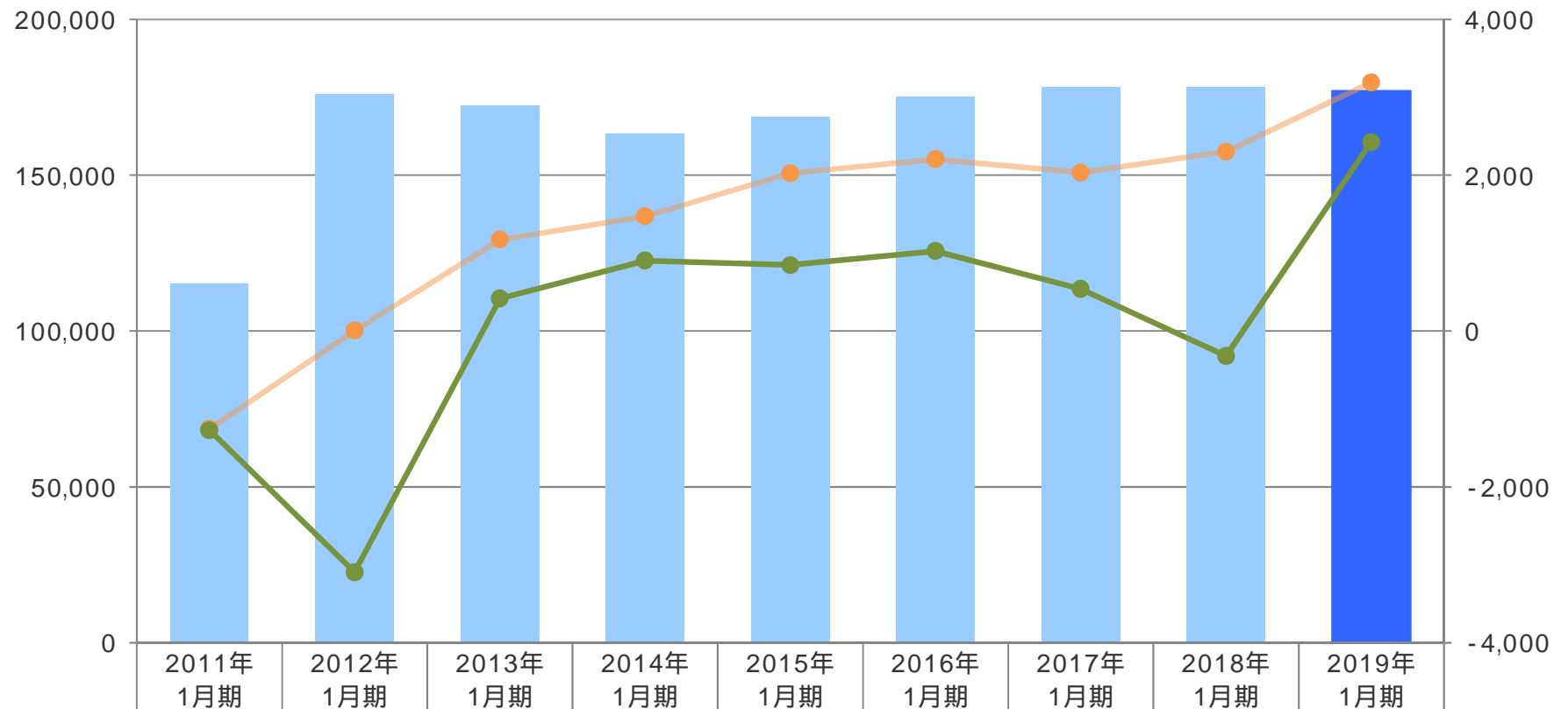
2018年2月1日～2019年1月31日 前年同期比

（単位：百万円）

【2019年1月期】	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前年同期実績 (2018年1月期)	178,349	2,301	2,255	321
当期実績 (2019年1月期)	177,041	3,191	3,116	2,424
対前年同期 増減	1,307	889	861	2,745
対前年同期 比率	99.3%	138.7%	138.2%	—%

2. 業績サマリー 推移表(連結)

(単位：百万円)



売上高	115,270	176,013	172,289	163,337	168,812	175,137	178,405	178,349	177,041
営業利益	-1,255	5	1,172	1,473	2,024	2,204	2,032	2,301	3,191
当期純利益	-1,273	-3,096	416	904	845	1,025	539	-321	2,424

3. 当期・2019年1月期のセグメント損益(連結)

2018年2月1日～2019年1月31日

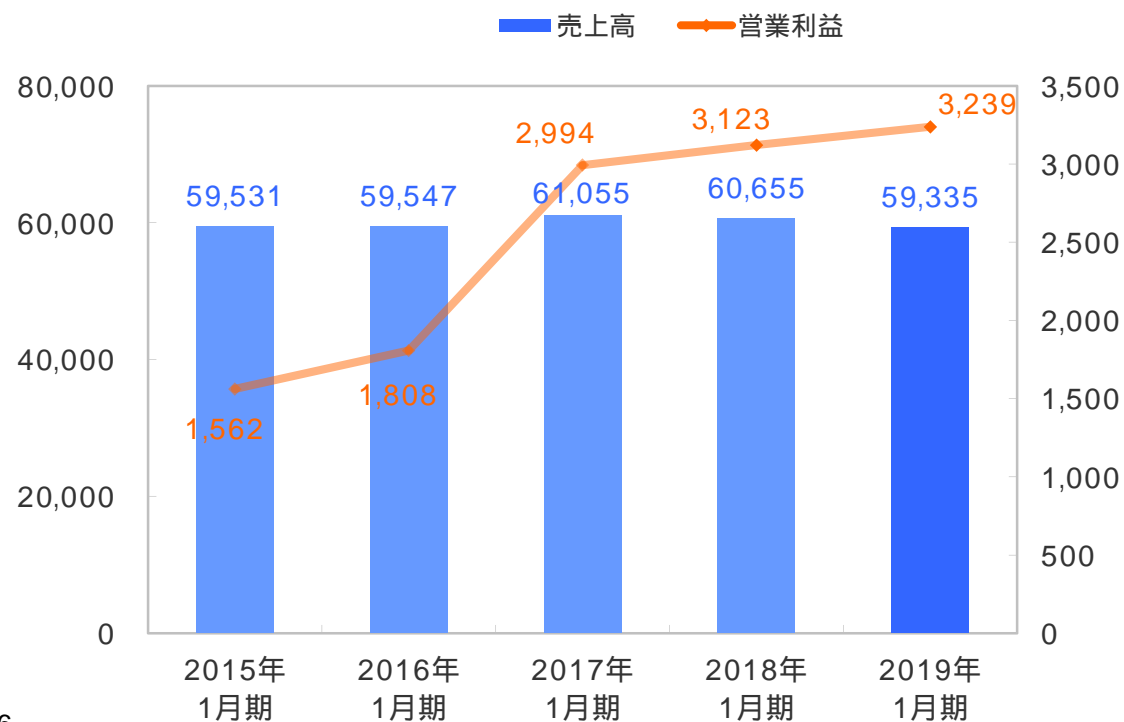
(単位：百万円)

連 結	売 上 高			営 業 利 益		
	当期	前期	対前比	当期	前期	対前比
文教市場販売事業	59,335	60,655	97.8%	3,239	3,123	103.7%
店舗・ネット販売事業	74,046	75,683	97.8%	33	326	---
図書館サポート事業	26,486	25,155	105.3%	2,046	1,628	125.7%
出版事業	4,300	4,318	99.6%	0.5	40	1.5%
その他事業	12,872	12,535	102.7%	623	379	164.2%
消去又は全社	---	---	---	2,752	2,543	---
合 計	177,041	178,349	99.3%	3,191	2,301	138.7%

4. 主要事業 文教市場販売事業

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
2019年 1月期	59,335	3,239
対前比	1,320 (97.8%)	116 (103.7%)

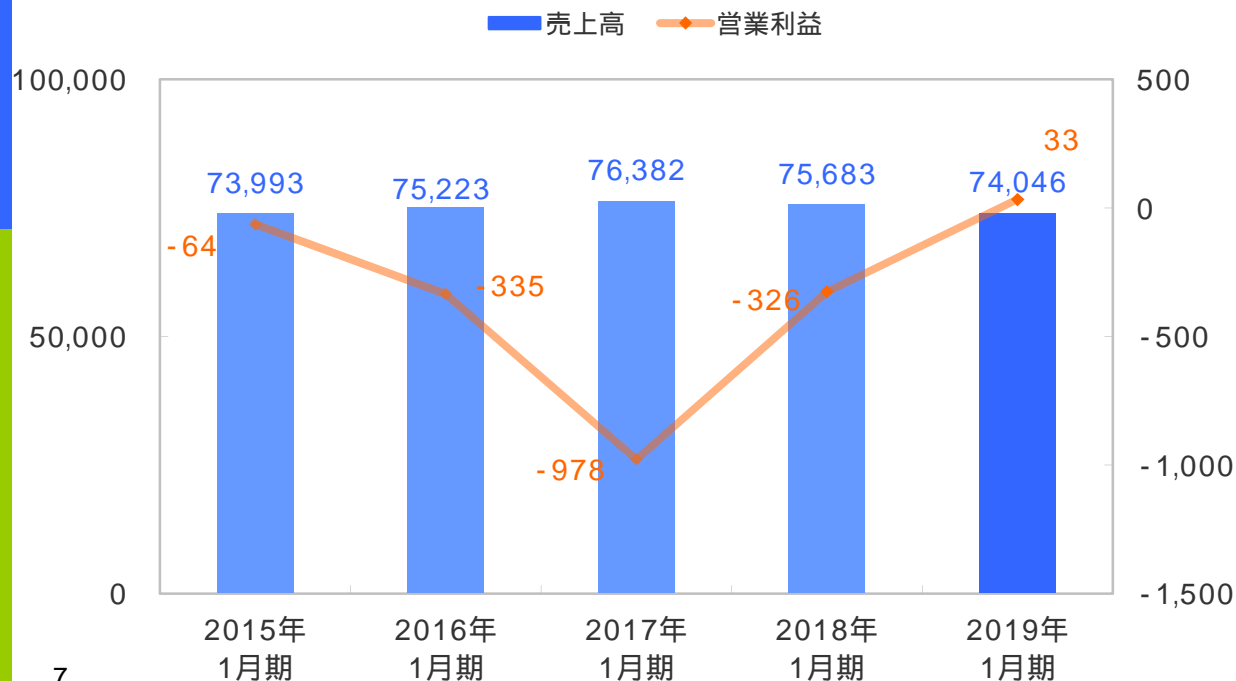


- 書籍売上が厳しく推移し売上高は前年比2.2%となった。
- 一方、比較的粗利益の高い商品の伸長や、設計施工事業等における粗利益率の改善効果もあり、営業利益は前年比+3.7%の増益となった。

4. 主要事業 店舗・ネット販売事業

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
2019年 1月期	74,046	33
対前比	1,637 (97.8%)	360 (---)

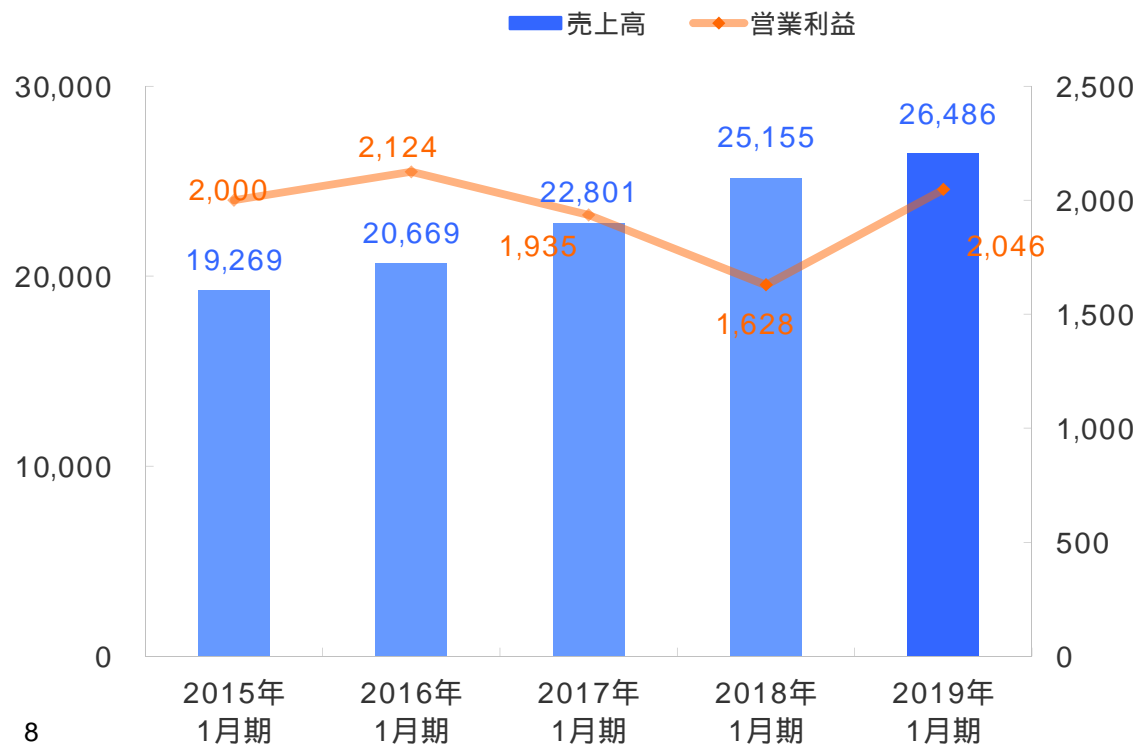


- 3店舗閉店や自然災害の影響もあったことで、売上高は前年比約16億円の減収となった。
- 原価改善、販管費の削減に努めた結果、前年比約3.6億円の増益となり、セグメント営業利益は黒字転換。
- 2019年1月末時点における店舗数は「MARUZEN」「ジュンク堂書店」ブランド以外の店舗名を含め、90店舗となっている。

4. 主要事業 図書館サポート事業

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
2019年 1月期	26,486	2,046
対前比	1,331 (105.3%)	418 (125.7%)



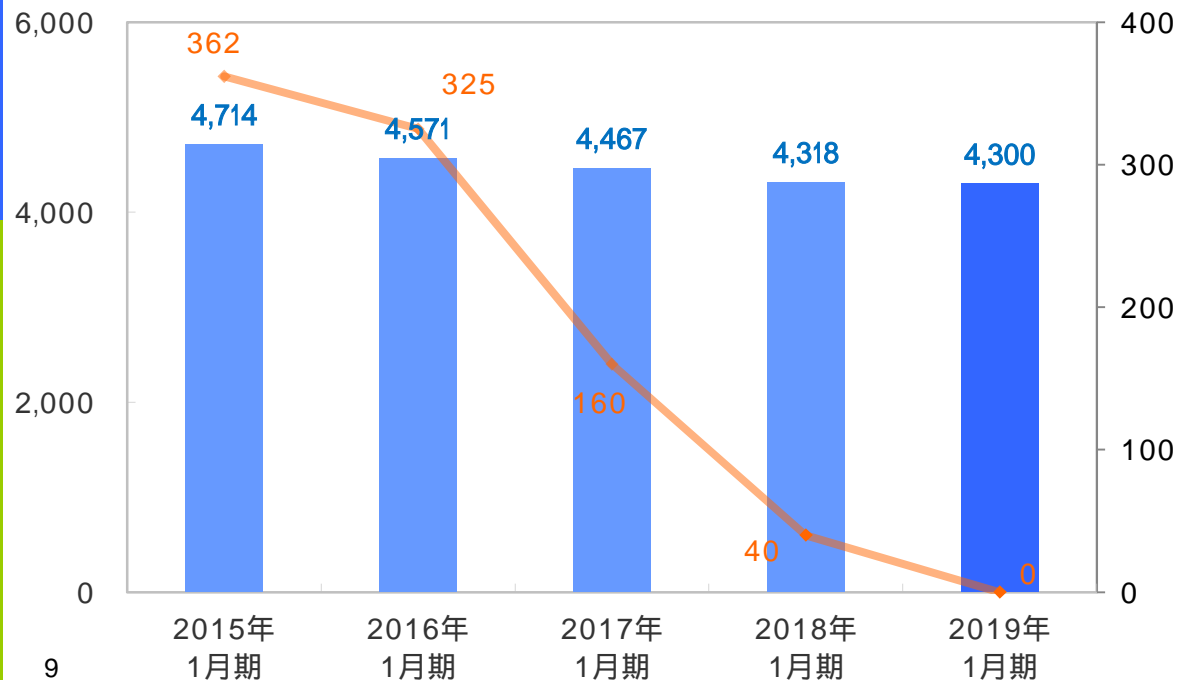
- 当期末の図書館受託館数は期初と同数であったが、比較的規模の大きな図書館の新規受託があった影響で、売上高は前年比+5.3%の増収となった。
- 営業利益は、人件費増の基調が続く厳しい状況の中、業務の改善・効率化に継続的に取り組んだことなどにより、前年比+25.7%の増益となった。

4. 主要事業 出版事業

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
2019年 1月期	4,300	0.5
対前比	17 (99.6%)	39 (1.5%)

■ 売上高 ▲ 営業利益



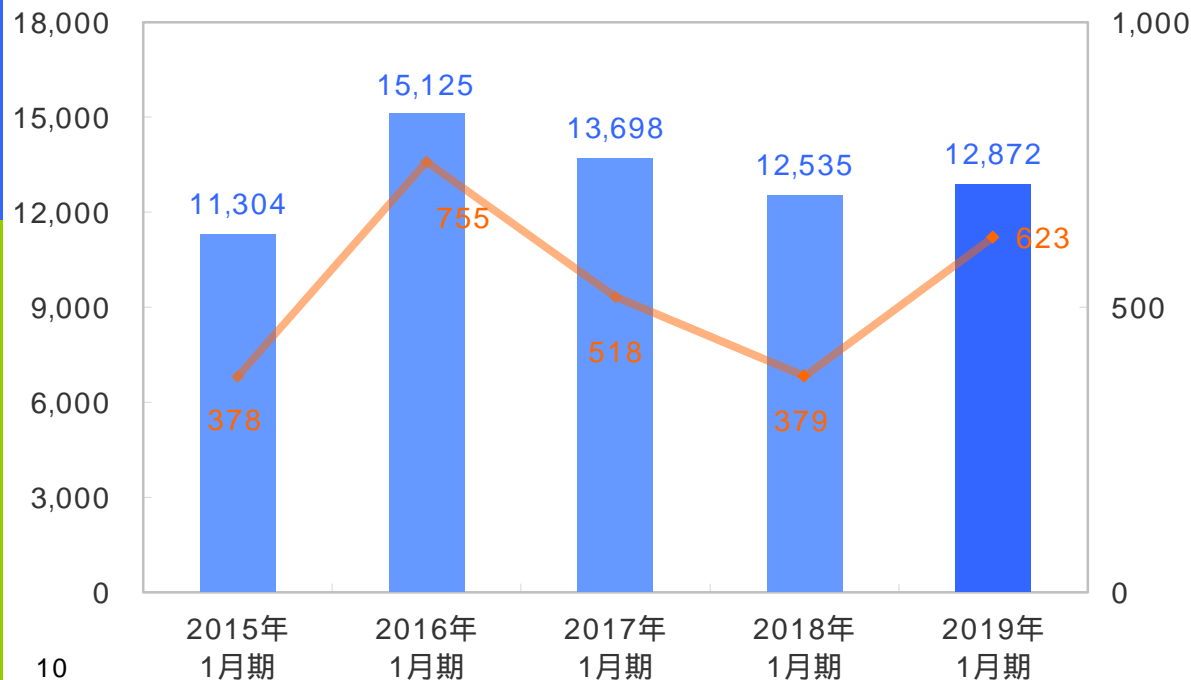
- 当期は、企画段階から、タイトルごとの販売予想をさらに厳しく見積もったこともあり、児童書分野及び専門書分野をあわせて、236点の新刊刊行（前年245点から9点減少）となった。
- その結果、売上高は前年比99.6%の減収となった。
- 営業利益は、上記減収の影響や、過年度の新刊の在庫引当及び返品調整引当等の原価増により約58万円であった（前年比1.5%）。

4. 主要事業 その他事業

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
2019年 1月期	12,872	623
対前比	337 (102.7%)	243 (164.2%)

■ 売上高 ◆ 営業利益



- 総合保育サービスの(株)明日香及びグローバルソリューションサービス(株) (ともにTRC子会社) が順調に業績を伸ばし売上高は前年比102.7%となった。
- 店舗内装業 (丸善雄松堂(株)) において、粗利率の改善が進んだ結果、営業利益は前年比164.2%と、増益となった。

5. 来期・2020年1月期(当社第10期)業績予想

- 文教市場販売事業、図書館サポート事業においては、紙と電子のハイブリッド型図書館の拡大による利便性の向上、業務受託で提供する機能・サービスの拡張による付加価値向上、大学や地域のコミュニティ活性化のための施設環境のデザイン力強化など、「学び」や「暮らし」をサポートし、より豊かにする提案により事業拡大を目指します。
- 店舗・ネット販売事業は当期において営業黒字転換を果たすことができましたが、継続する厳しい市場環境において、「これからの社会を生きる生活者に必要とされる書店」として変革を進める必要があります。効率的店舗運営に向けた業務改善を継続していくほか、マーケティングデータの活用と提案力のある棚づくり、生活者の暮らしや仕事のニーズに応える商品の多角化や、棚企画やイベントを通じた場作りなど、書店としての業態改革を進めて参ります。
- 売上高については、市場の厳しさもあり、微増にとどまる予想ですが、上記の取り組みにより、営業利益、経常利益は増益を見込みます。一方、親会社株主に帰属する当期純利益については2019年1月期に特別利益があった影響で減益となる見込みです。

(単位：百万円)

【2020年1月期予想】	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
通期業績予想	178,000	3,250	3,150	2,150
当期実績との比較	959	59	34	-274
	100.5%	101.8%	101.1%	88.7%
[2019年1月期通期実績]	177,041	3,191	3,116	2,424

ご参考資料

当期のトピックス

- | | |
|-----|--|
| 2月 | 丸善雄松堂が大学公開講座管理システム販売・保守のセカンドアカデミー（株）を子会社化 |
| 3月 | 丸善雄松堂、アイセック・ジャパンとの販売代理店契約を締結し、講義や講演等の音声を即時に文字で配信するリアルタイム字幕サービスを開始 |
| 4月 | 丸善ジュンク堂書店、Ponta及びdポイントとポイント連携開始 |
| 5月 | 図書館流通センターが受託する長崎市立図書館で開館10周年、来館者1,000万人達成を記念しクラウドファンディングで地域一体となったイベントを実施 |
| 6月 | 図書館流通センター、立命館大学、EBSCOとともに長崎市立図書館で、図書館が提供する様々なリソースを同一のインターフェイスで検索できるディスカバリーサービスの運用を開始 |
| 7月 | 図書館流通センターが提供する電子図書館サービス「LibrariE & TRC-DL」がECCジュニア電子図書館で採用 |
| 7月 | 図書館流通センターが受託する大和市文化創造拠点「シリウス」（2016年11月オープン）で来館者500万人を突破 |
| 8月 | 丸善ジュンク堂書店、全国の店舗でPonta及びdポイントを導入 |
| 11月 | 図書館流通センター、図書館のない久米島町で沖縄県初の電子図書館サービス開始 |
| 12月 | 丸善ジュンク堂書店、スマホアプリ決済サービス「楽天ペイ」を全国73店舗で導入 |
| 1月 | 丸善創業150周年 |
| 1月 | 丸善ジュンク堂書店、スマホアプリ「honto with」を活用した近刊書籍の予約&店頭受取サービス開始 |

新規出店・リニューアル店舗

丸善ジュンク堂書店店舗情報

2月	ジュンク堂書店	梅田ヒルトンプラザ店閉店
3月	ジュンク堂書店	松戸伊勢丹店閉店
3月	ジュンク堂書店	名古屋店、名古屋栄店に文具売場オープン
3月	ジュンク堂書店	松山店で文具売場オープン
5月	丸善	関西国際空港店閉店
7月	ジュンク堂書店	南船橋店リニューアルオープン
8月	ジュンク堂書店	三宮店リニューアルオープン



(三宮店)



(南船橋店)

丸善創業150周年記念事業



2018年11月	丸善創業150周年記念サイトオープン
11月～	丸善出版 創業150周年記念出版第1弾刊行（2019年1月までに4冊刊行）
2019年1月	丸善150周年記念フェア～次の半世紀まで読み継ぎたい丸善の本～（展示・販売）
1月	特製リーフレット「丸善はじめ物語」 丸善ジュンク堂書店店頭にて配布
1月	「檸檬」初版カバー販売等オリジナル出版企画
1月	「學鐙」1897-2018 電子ブック発売
1月	全国の丸善、ジュンク堂書店店員とhonto会員の投票による 文庫・新書復刊企画
2月	著者・編集者と読者をつなぐ 「日本橋BOOKCON2019」開催
2月	万年筆、ペンケース、 手ぬぐいなどの記念文房具第一弾発売





本資料には、当社および当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。

これらの記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。